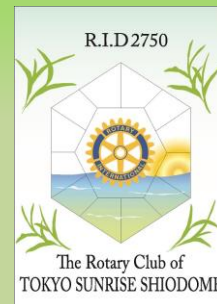


◆ WEEKLY REPORT ◆



R.I.会長 イアン・ライスリー

R.I.D.2750 Chiyoda & Pacific
Basin Group
The Rotary Club of
TOKYO SUNRISE SHIODOME



2017-18年度 会長 山本教夫
クラブテーマ「ロータリーの楽しさを見つけよう」

No.117 20.Jul. 2017 発行

第113回 例会

【日時】2017年7月13日(木) 12:30~13:30 【例会場】ロイヤルパークホテル ザ 汐留
【例会出席】会員数 17名 名誉会員2名 【出席者】13名 ビジター 1名 ゲスト 2名
【出席率】76.5% 【ニコニコBOX】¥ 11,500— 《今年度累計》 ¥ 27,000—

《プログラム》

◇ 開会点鐘

◇ 斉唱:「我等の生業」

◇ 会長挨拶

7月27日にいよいよガバナー補佐の訪問を受けます。各委員長には今年の行動方針を発表して貰います。どうぞよろしくお願い致します。

◇ 幹事報告

7月7日第一回クラブ米山記念奨学委員長セミナーに行きまして。基金の設立は1952年。当初は海外の貧しい人々(特に東南アジア)を日本に呼ぼうという趣旨でしたが、現在は海外の優秀な人材を日本で育成し将来日本との友好関係を築いていく為という形に変わっていきました。50年前に財団という形になりました。奨学生は家族という考え方で、母国に帰っても90%は連絡のとれる方達ばかりになりました。(以前は30%ほど)今後もこのような形で運営されていくでしょう。

◇ 出席報告

◇ ニコニコボックス発表(敬称略)

山本教夫: 梅雨も明ける前から真夏の日差しですが、張り切って乗り切りましょう。本日卓話を頂く加藤様 宮島様、どうぞよろしくお願い致します。

立堀佳男: 健康診断の結果が出ました。ますますの数値でした。ニコニコです。

愛知とし子: 暑いですね。今日はロータリーで繋がりが素敵な加藤様を知り合う事が出来ました。加藤様、本日の卓話、楽しみにしております。

梅澤武男: いよいよ来週カジキ釣り大会にサンライズIIで参加します。無事に帰れますように。

湯川愛里: 今朝、家内がぎっくり腰になりました。宇宙遊泳のような格好で家事をする家内の間をすり抜けて家を出てきました。

熊谷行裕: 地震予知常用です。先週の続きですが、関東地区にマグニチュード6を超える地震発生の可能性があります。あと数日。東京より西側と思います。念の為週末はご注意ください。

松永晃享: 暑い日が続きます。年を追う毎に夏が辛くなります。やだやだ。

アトリー・ウチ様(東京南RC): クリニックのエアコンが壊れ、仕事になりません。今週はお休みにしました。

司会: 工藤至善会員

山本教夫会長

愛知とし子ソングリーダー

山本教夫会長

立堀佳男幹事

鹿島孝夫会員

湯川愛里会員

◆ 会長: 山本教夫 ◆ 幹事: 立堀佳男 ◆ 副会長: 愛知とし子 【発行責任者】 山本教夫

【創立】2014年10月15日 【例会日】毎週木曜日 12:30~13:30 【例会場】ロイヤルパークホテルザ汐留
〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-18-3 (南エルーデ内) / TEL:03-6380-5798 / FAX:03-6273-1196

【URL】<http://suns-rc.org/> 【E-mail】office@suns-rc.org

◇ ビジター紹介

アド・ルー・ウォン様(東京南 RC)：私は 1974～76 年の米山奨学生でした。その時のお金をロータリアンになってからすべて米山基金にお返ししました。

◇ 卓話者ご紹介

愛知とし子副会長

加藤様とはインドネシアのメンテンでお知り合いになり、東南アジアの方で活動されており、貧しい環境でも社会を変えていこうという意思を持った人を手助けされたりしていらっしゃいます。今回は、震災等での基金が正しい使われ方をしていく道筋のつけ方等のお話をして頂きます。

◇ 卓話 『変わるフィランソロピーの世界 ー震災復興から見た、新しい問題解決の可能性』

一般財団法人 World In Asia 代表理事 加藤徹生 様

2011 年の震災の後、集まった支援金が上手く使えていなかったという現実を見ました。東北は少子高齢化が進んでいて、老人の方が多いのです。にも関わらず、子どもにしか使えない寄付金や緊急の時にしか使えないお金が多く集まってしまっていました。そこで、財団があればこのお金を上手く使えるのではないかと思い、財団を立ち上げる事となりました。

世界では善意のお金が上手く使えなかったり援助が集まりすぎてしまった事で現地の産業を破壊してしまった事例があり、援助のお金は賢く使わないと新しい動きにはつながらないという事が分かり、寄付金の運用に対しての動きが変わってきました。社会的投資という発想で、「使い道を一緒に考える」というのが我々もやっている動きです。クラウドファンディング等で集めた資金を社会起業家に投資して雇用を生み出すという成果を出しました。財団を作ったもう一つの理由として、寄付する側とされる側の生の情報が入って来ない事が多く、このサイクルを変えたいというのもありました。ポジティブな情報は中々入ってきません。社会的弱者の方達は自信を無くしてしまう事が多く、更に苦手なことをやらされる事が往々にしあり、そうではなく、得意なことをして活かしていくと上手く回っていくのです。こういった事例がたくさんの人目に触れるように紹介していく事をしています。

そして、寄付という形でお金だけ渡すという事が多いのですが、それは1回限りで継続性が無いですし、折角のお金をうまく活用することが出来ない事もあるため、運用益を活用するなど、中長期で継続できるような仕組みを提案しています。ただし、日本でもそのように活用する仕組みを作った所はありますが、残念ながら失敗に終わっている所も多いため、失敗しないように一緒に考えて構築していくことをやっております。

中々分かりづらい話ではあったかもしれませんが、皆様にお聞きいただいき興味を持っていただければ幸いです。

◇ 講評

加藤様、有難うございました。お金の扱い方が現在多様になってきていて捉えきれない状態です。加藤様の今後のご活躍をお祈りいたします。

山本教夫会長

◇ 閉会の点鐘

山本教夫会長



アド・ルー・ウォン様



愛知とし子副会長



山本(右)会員 山本会長 加藤様 宮島様 愛知副会長

《今後の主な行事予定》

- ◇ 7月27日 ガバナー補佐訪問
- ◇ 8月31日 ガバナー公式訪問

《今後の例会スケジュール》

- ◇ 7月27日 12:30~13:30
- ◇ 8月3日 12:30~13:30
- ◇ 8月10日 12:30~13:30